

- ◆ 認知症は症状の進行度にあった対処法や支援が大切です。下の表では、進行度別に本人の症状や介護をする方の対応、小諸市の支援体制等を紹介しています。
- ◆ 原因疾患や身体状況等によって経過が異なりますが、今後の介護の目安としてください。

軽度	中度	重度
日常生活はほぼ自立 ⇒ 誰かの見守りが必要 ⇒ 日常生活に手助けが必要 ⇒ 常に手助けが必要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 同じ物を何度も買ってしまう。</li> <li>• 財布、通帳のしまい忘れや置き忘れが増え、探し物ばかりしている。</li> <li>• 新しい事が覚えられない。</li> <li>• 料理、片付け、計算などのミスが多くなる。</li> <li>• 薬を飲んだ事を忘れる。</li> <li>• 曜日や時間が分からなくなる。</li> <li>• 小便の排泄を失敗してしまう。</li> <li>• つじつまを合わせようと作り話をして取り繕う。</li> <li>• 些細な事で怒りっぽくなり、イライラしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 慣れた道なのに迷ってしまう。</li> <li>• 物盗られ妄想が出る。</li> <li>• 交通ルールが分からなくなる。</li> <li>• 着替えや入浴を嫌がる。</li> <li>• 大便の排泄を失敗してしまう。</li> <li>• 言葉や話の内容が理解できない。</li> <li>• なぜか人ともめる事が多い。</li> <li>• いつも落ち着かない。</li> <li>• 暴力を振るう。</li> <li>• 好きな事にも興味が持てず、意欲が出ない。</li> <li>• 感覚が鈍くなる。</li> <li>• 介護者の顔が覚えられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分で出来る事が少なくなる。</li> <li>• 古い記憶も消えていく。</li> <li>• 家族の顔や人間関係がわからなくなる。(失認)</li> <li>• トイレの使い方が分からなくなる。</li> <li>• 衣類の着脱ができなくなる。(失行)</li> <li>• 言葉が分からず話さなくなる。(失語)</li> <li>• 自分のいる場所や、何をしているかが分からなくなる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 趣味や得意な事、出来る事を生活に取り入れる。</li> <li>• 出来る範囲で役割を続ける。</li> <li>• カレンダーで日時をチェックし、大事な事や出来事を書き留める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 定期受診を継続する。</li> <li>• 日課や家庭の中での役割を続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 脱水に注意する。</li> <li>• 肺炎予防のため、口の中を清潔に保つ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「反論」ではなく「傾聴」する。</li> <li>• 一緒に行動する時間を持つ。</li> <li>• 本人のペースに合わせる。</li> <li>• 一人で頑張り過ぎず、地域包括支援センター等の専門機関に相談する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人の世界観に合わせる。</li> <li>• 反論や否定、説得はしないようにする。</li> <li>• 本人に感謝の気持ちを伝える。</li> <li>• 出来る範囲で身近な人に認知症の事を伝え、理解者や協力者を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あたたかなコミュニケーションを心掛ける。</li> <li>• 目を見てゆっくり話す。</li> <li>• 心地よさをたくさん感じてもらう。</li> </ul>
一般病院・訪問診療		
精神科専門医		
歯科医・訪問歯科診療		
薬局		
訪問看護（介護保険・医療保険）		
宅		
（住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅 等）		
介護保険施設（介護老人保健施設(老健)・介護老人福祉施設(特養)・介護医療院）		
グループホーム（認知症対応型共同生活介護）		